R4.2.20
光家弘子

7ーユーモアと人間の味

位置づけ：
　テキスト５「話力を高める話し方コース」の７回目にしてユーモアが出てくる。受講者には異色に映る。それをどのように説明しユーモアの大切さを分かってもらうか？

１．最近、笑いましたか？
　① ここへ来るまでに、笑いましたか？
　② 家や近所で面白いことがありましたか？
　③ 職場で、サークルで、友人との会話のなかではどうですか？

２．笑う門には福来たる
　① 明るい所に人が集まる。虫も集まる
　② 明るい会話のある家庭に『不登校・家庭内暴力』はない
　③ 明るい会社は伸びる良い会社

３．ユーモアの定義とは
　何かことが起きた時に、上質の笑いすなわち、おかしみを入れて社会生活に味付けをし、温かい和やかなプラスのムード（気分・情緒・雰囲気）をつくることをいう。

４．ユーモア名言集
　・教育というものは、ユーモアを解する人間を作ることである（アメリカ）
　・つらい時こそ、笑いの気持ちを持ちなさい　（チャップリン）
　・ユーモアは仕事を愉快にし、交際を明朗にし、家庭を明るくする
　　（アンドリュー・カーネギー）
　・成功を喜び、失敗の中にユーモアを見いだしなさい（サム・ウオルトン）
　・苦痛は、すべての思想より深い。笑いはすべての苦痛より尊い
　　（K・ハバート）
　・笑いなさい　笑いたくなくても笑うの！　笑顔が人には必要なの
　　人は笑わなきゃ　生きられない　（マザー・テレサ）
　・ユーモアのない一日は、寂しい一日だ　（島崎藤村）

５．なぜ、ユーモアを学ぶ必要があるのか
　・寂聴さん法話の人気の秘密は…笑いで、つかみをとること
　　「いきなり仏教の難しい話から始めても、集まってくれる人は聞く耳を持たない。だから笑いから入る。笑いながら聞くほうが大切なことがしっかり入る」と
　　なるほど、話し方講義にも言えるのではないか。